



【日本気象協会からのお知らせ】

2019年 9月 10日  
一般財団法人 日本気象協会

**日本気象協会の職員が「第60回大気環境学会年会市民集会」にて講演  
～民間気象会社の立場から、気象情報提供の現状や  
大気汚染予測システムへの期待を講演します～**

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、公益社団法人大気環境学会が主催する市民集会（セミナー）の中で講演を行います。なお本セミナーは大気環境学会が毎年開催している年会での市民公開フォーラムの拡大版として「第60回大気環境学会年会市民集会」として実施されます。

■「第60回大気環境学会年会市民集会」概要

○日 時：2019年9月20日（金）13:00～16:40

○場 所：東京農工大学 府中キャンパス2号館11教室  
（地図情報：<http://www.tuat.ac.jp/outline/overview/access/fuchu/>）

○テーマ：「大気環境データの国民への即時提供 -観測と予測-」

○式次第

13:00～13:10 開会挨拶、趣旨説明

セッション① 大気環境観測データ提供の現状と課題

（座長：埼玉県環境科学センター 長谷川 就一氏）

13:10～13:50 演題1 民間気象会社によるリアルタイム情報提供の現状と課題  
日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 コンシューマ事業課  
グループリーダー 岡村 智明

13:50～14:30 演題2 大気汚染物質広域監視システムの現状と課題  
環境省水・大気環境局大気環境課 上尾 一之 氏

14:30～14:50 休憩

セッション② 大気汚染予測システムの現状と課題

（座長：日本環境衛生センター 高橋 克行氏）

14:50～15:30 演題3 大気汚染予測システム VENUS の現状と課題  
国立研究開発法人国立環境研究所 菅田 誠治 氏

15:30～16:10 演題4 民間事業者からみた大気汚染予測システムへの期待  
日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 メディア事業課  
グループリーダー 堀口 貴司

セッション③ 総合討論

（座長：国立環境研究所 高見 昭憲氏）

16:10～16:40 総合討論、閉会挨拶

○参加申込受付：<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/jsae60/>



日本気象協会は気象コンサルティング会社の使命として気象、地象、水象等に関する科学および技術の進歩に協力するとともに、気象に関する知識、情報の普及をはかることにより気象に関する事業の発展をはかり、もって公共の福祉の増進に寄与することを目指しています。今後も講演会などの機会を通じ、さまざまなステークホルダーとの対話を続けています。

以上

<参考情報>

第 60 回大気環境学会年会 : <https://conv.toptour.co.jp/2019/jsae60/index.html>

プログラム : <https://conv.toptour.co.jp/2019/jsae60/program.html>